



# 薩摩川内市立 高来小学校

児童数 111人  
学級数 8クラス



テーマ

考え、議論する学び合いを通して、自己の生き方についての考え方を深めることができる子どもの育成

## 研究に当たって(テーマ設定の理由)

人権教育の推進を図るには、学級経営の充実を基盤として、自己肯定感や自尊感情を高め合う態度の育成が教育活動の中で行われなければならない。

そこで、新学習指導要領に基づいた授業実践と社会の変化に対応できる生きる力や心の教育につながる研修や学習活動を行うことで、本校の課題解決につながると考え、研究テーマを設定した。

## 研究スケジュール

5月18日(月) 「人権思いやり集会」  
6月2日(火) 職員研修 「仲間づくり」講演  
11月2日(月) 「命の大切さやいじめ問題を考える道徳科授業」(全学級)  
12月1日(火) 「子ども人権教室」  
1月18日(月) 職員研修  
「学校楽しいーと」の活用

## 特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

- 「人権思いやり集会」での仲間づくり活動の実施  
自己肯定感を高めたり、友だちのよさを認め合ったりする活動や、他者との関わりを意識するゲームを実施した。
- 「命の大切さやいじめ問題を考える道徳科授業」の公開  
地域が育む「かごしまの教育」県民週間に合わせて、全学級による「命の大切さや人権に関する道徳的価値」を主題にした道徳科授業を公開した。保護者や地域の方々が多数参観に訪れた。
- いじめの問題解決型学習の実践  
人権擁護委員・SSWと連携して創作した「いじめのない学校づくりカリキュラム(3時間)」を5年生で実践した。全職員が関わり、授業案・教材作りから授業まで行った。
- 校内人権旬間「子ども人権教室」  
低学年テーマ「友だちと仲良く過ごすために」、中学年テーマ「友だちがいやがるような言動をしないようにするために」、高学年テーマ「差別や偏見について自分の意見をもつために」をめあてにした人権教室を実施した。
- 校内職員研修「人権教育研修資料」「学校楽しいーと」の活用  
職員の人権意識を再確認するために、人権教育研修資料を基に職員研修を行った。また、「子ども人権プロジェクト」推進校として、教育課程とつなげた具体的な取組や「学校楽しいーと」を活用した教育活動の在り方について研修を実施した。



【職員研修】



【子ども人権教室】



【人権コーナー】

## 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- 人権を守るとは、自分を大切に、相手も尊重することだと分かり、お互いによく話を聞いて理解し、認め合おうとする意識が高まった。
- なかま班の活動や異年齢集団との活動を通して、つながりを広げる楽しさを感じながら、周りの友達を認めようとする態度が育ってきた。
- 講演会の開催や学校だよりの工夫を行うことにより、地域全体に人権教育が更に広がるようにしていきたい。